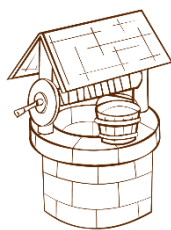




令和4年10月号 Vol.58  
情報メディア教育センター



## 秋の日はつるべおとし

という言葉を聞いたことがありますか。つるべというのは、井戸で水をくむために綱を付けた桶のこと。つるべを落とすように日が暮れるのが早く感じる秋。

毎日同じ時間に帰っていると、先週までの夕焼け空が、いつの間にか校舎や樹木が影絵のように見える薄闇に変わっていて、季節の移ろいを感じます。急に涼しくなってくれしいやらさみしいやら。スポーツ、読書、食欲・・・どんな秋にしたいですか。



## ボードゲーム沼の夏、それから。

去年の夏、兄の紹介でカタン（注1）を知りました。その後何度かやってみた結果……よい。しみじみとよい。さすがボードゲーム界の雄。昨今では、やれ社会性が育つ、計算力を高める、観察眼が養われるのだと、ボードゲームの「学び」効果が注目されているそうです。

いや、しかし、言わせてほしい。楽しい。それだけでいいじゃない。社交的なあの人はしょっちゅう交渉して他のプレイヤーから資源をもらっているけど、マイペースなあの人のそういうのは見たことないとか、発展家のあの人はどんどん道をつなげて派手な動きが目立つわりに、結局勝てないことが多いよねとか、各自の性格が出るのが面白く、私は正直、勝てなくてもまったく悔しくないです。このまったりとした時間が好きです。カタンが長く愛されているのもそういうところなんじゃないかなあとと思います。

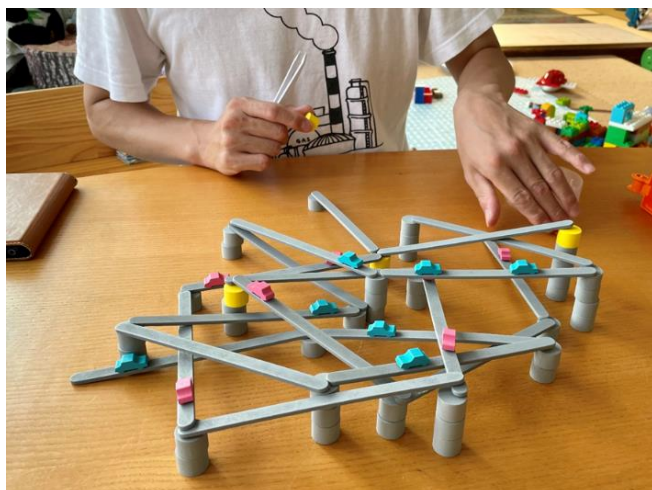
でも息子にはルールがちんぷんかんぷんらしく、なかなかやらせてもらえません。3人家族の我が家では、そもそも3～4人のプレイヤーを集めるのが難しく、フラストレーションはたまるばかりです。そんな折、あのとにかくカッコいいことが売りといわれる「トーキョーハイウェイ（注2）」を入手しました。ゲーム開始。自分が勝つことよりもこの複雑な構造物をうっかり壊さないようにとか、よりバランスよく見える方向に出口を作ろうとかに意識が向くので、結果、うわさに違わぬ完成度。出来上がった首都高は灰色の道路が複雑に入り組み、その上を走るピンクと水色の車が映えて美しい。なんとか最後の一台を置き終えたところで怪獣がやってきて、あっけなく我が家の首都高は破壊されてしまいました。手ごたえ十分でした。

まだ我が家で所有しているボードゲームは数点なのですが、いつか我が子とできる日がきたらいいなあと期待しつつ、今すぐにでもという気持ちが抑えきれません。放課後、だれかいっしょにボードゲームやってくれませんか。（津田）



（注1）カタン 世界のボードゲームの中で2000万個以上の販売数を誇る、ドイツ発の大ヒットゲーム。「カタン島」という無人島を舞台に、3～4名のプレイヤーが参加し、島を開拓競争する。

（注2）TOKYO HIGHWAY（トーキョーハイウェイ）2人用 複雑で特異なフォルムで世界に知られる東京首都高速道路をテーマにしており、柱を積んで道路を立体的に交差させながら、相手より先にすべての車コマを置き終えたら勝利。





# 新着図書ピックアップ

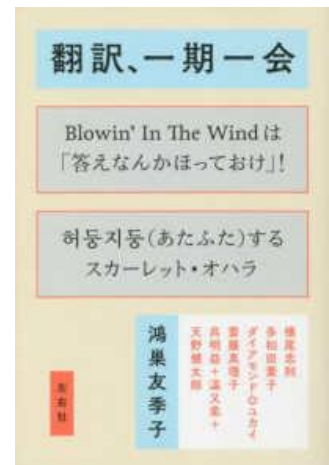


## 『翻訳、一期一会』

鴻巣 友季子【著】

『翻訳問答』というシリーズの第三弾である著書。私自身、いくつかの言語に触れる機会がありましたが言語能力はほぼなかったため、この才能あふれる人たちはどこからやってくるのか、どんな風にされる仕事なのか興味があり選んでみました。

著者には様々な世界で活躍する方々が登場し、英語の歌詞を和訳（ダイヤモンド☆ユカイ）、ドイツ語に訳された古典を和訳（多和田葉子、芥川賞作家）など面白い試みがなされ、訳者と翻訳について話し合う場面があります。翻訳の難しいところは、本が書かれた時代背景や国の文化を訳者が理解する必要があり、それを現代のどこかの国の人理解できる言葉を使って訳すという作業のようです。膨大な時間がかかりそうですね。（大原）



## 『怒りが消える心のトレーニングー図解アンガーマネジメント超入門』

安藤 俊介【著】



イライラしても仕方ないと分かっているけど、怒りの感情が止められないことって誰にでもありますよね。アンガーマネジメントとは、怒り（アンガー）をコントロールする方法のこと。とっさの怒りを切り抜ける対症療法にはじまり、「怒らない自分」をつくるための習慣などが書かれています。私が実践したいと思ったのは、「グラウンディング」という方法。私たちの意識は時間や場所を超えてどこにでも行くことができますが、あえて「今、この場所のことだけを考える」ことで怒りを回避します。言うは易しという気もしますが、毎日少しずつ実践すれば、1年後にはほとけ顔になっているかも！？（津田）

## 『生命の略奪者ー天久鷹央の事件カルテ』

知念実希人【著】

EMC でも大人気の医療ミステリーシリーズの新刊。「待ってました!」っていう人多いんじゃないかな。主人公はコミュニケーション能力皆無で敬語も使えない、まるで高校生のような28歳の女性医師、天久鷹央。でも超人的な頭脳の持ち主で難事件を次々に解決していく。今回は移植に使われる臓器を運んでいたコーディネーターが襲撃され、臓器が奪われるという事件。難解な医学用語もあるが、文体は軽やかで読みやすかつ作品にリアリティーがある。なんといっても著者の知念さんは小説家&医師。鷹央を取り巻く小鳥、鴻ノ池などのキャラクターもいい仕事してる！（大塚）



新着ピックアップは毎月、司書が「これは、ぜひ読んで!」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。



他人の読んでいる本が気に入るようになってきた

## 藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.53

『生まれた時からアルデンテ』 平野 紗季子【著】

何だ！？この奇妙でぶっ飛んだタイトルは…(\*\_\*； 私はいつも本を数ページ読んでから必ず筆者のことをインターネットで調べます。絶対この筆者、融通の利かなさそうな変人クソ○○○だ…。と勝手に想像を膨らませながら、『平野 紗季子』と検索。…エッ( °Д°)！ 年下やんけ( °Д°)( °Д°)( °Д°)そして…美人やん(#^^#)笑

この本「エッセイ」と言うジャンルらしいです。(恥ずかしながら、人生 34 年目にして初のエッセイでございます m(\_\_)m 初めまして。) ちなみに、エッセイ(随筆)とは、文学における一形式で、筆者の体験や読書などから得た知識をもとに、それに対する感想・思索・思想をまとめた散文である。(Wikipedia より)

確かに、本書も著者フードエッセイスト平野さんによる最近のパフェの大きさに関する苦言やファミレス定員観察記などの「食」に対する持論やこだわりが一冊の本となっています。それにしても筆者が感じたこと好き勝手描いている印象。これがエッセイなのか…( °Д°)何とも言えない気持ちになる私。いや、待てよ。エッセイストの方々には大変申し訳無いですが、この本を読んで思ったことがあります。私でも書けるんじゃない？と。てことで書いてみました。今回、「食」に関するエッセイでしたので、筆者に対抗するつもりはありませんが「食」で書いてみたいと思います。



### 『一口目の衝撃』 藤崎一臣【著】

出会いは、約 30 年前。これまで食べた高級食材や行列ができる人気料理店をもってしても、貴方を超えるものに未だ出会ったことはありません。何の変哲もないホットプレートの上で焼かれる貴方。空間に充滿する豊満な香り、食欲を掻き立てるジューシーな音。ビジュアルはイマイチかもしれませんが、人間と一緒に中身(味)が大切なわけです。幼き頃、何のためらいもなく口にすることができていた貴方。しかし、成長というものは残酷なものです。ある日から躊躇いがうまれ、貴方が手の届かない、近いようで遠い存在となってしまったのです。

時が経ち、再び私は貴方を手に取る条件が整いました。それにも関わらず、次は貴方の方が私から姿を消してしまいました。コロナ禍によって…。

ああ…いつになったらまた出会うことができるのか、私にとってこの世で一番美味しい食べ物。スーパーの試食のウイナー様

『生まれた時からアルデンテ』 平野 紗季子【著】

## 10月の開館予定

10月		
1	土	休館
2	日	休館
3	月	8:10-17:50
4	火	8:10-18:50
5	水	8:10-18:50
6	木	8:10-18:50
7	金	8:10-18:50
8	土	休館
9	日	休館
10	月	休館
11	火	8:10-18:50
12	水	8:10-18:50
13	木	8:10-18:50
14	金	8:10-18:50
15	土	休館
16	日	休館
17	月	8:10-18:50
18	火	8:10-18:50
19	水	8:10-18:50
20	木	8:10-18:50
21	金	8:10-18:50
22	土	休館
23	日	休館
24	月	8:10-18:50
25	火	8:10-17:50
26	水	8:10-17:50
27	木	休館/館内整理
28	金	8:10-17:50
29	土	休館
30	日	休館
31	月	8:10-17:50



### 第 50 回 三輪 達哉先生おすすめ

『サピエンス全史 文明の構造と人類の幸福 上・下』

ユヴァル・ノア・ハラリ【著】

「お金は紙なのになぜ価値があるのか」こんなことを疑問に思ったことはありませんか？

この問いがホモ・サピエンスと他の動物とを分ける大きな手がかりになります。

キーワードは“虚構(フィクション)”。「この世界は“虚構(フィクション)”で成り立っている。」フィクションとは何なのか？読んで確かめてみてください。

EMC には読みやすい漫画版もあるようなのでぜひ読んでください。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどうなかに渡るかな？



# BOOKHUNTING

今年選ばれた本はこれだ！

この夏、3年ぶりに開催されたブックハンティング。参加した生徒のみなさんが選んだ本がズラリ136冊！みんなの「こんな本が読みたい！」思いがギュッとつまった展示になっています。

さて書店に置いてある本には「本の帯」がついていますよね。帯を読んでその本を手にとったことがある人もいるのでは？今回の展示では自分で選んだ本の中で特に「これ読んで！」の推し本にキャッチコピーを考えたり、イラストを書いたり自作で本の帯を作ってくれました。どれも力作です！必見です！

年月を経ても面白いものは面白い。



千葉シティーが舞台。ハッカーたちは難題に挑む。1986年出版のSF超古典。その時に描かれた未来とは。



映画「TANG」の原作本。二宮和也主演で上映中です。



あやかし夫婦の前世は平安時代のあの妖怪らしい。



文豪ハッセの永遠の名作。「なぜ勉強するんだろう」と思ったときに読んでほしい



お待ちかね！EMCで大人気シリーズ！今回の舞台は群馬県死の字村。数学少女渚の推理



うだるような京都の夏。オンボロ下宿のクーラーのリモコンが壊れてさあ大変！キラキラまぶしい青春です。



「読むと心がざわつく」と評判の167回芥川賞受賞作！共感度100%。職場小説

この本おすすめ！笑える話あり。しんみりする話あり。ヨシタケさんの挿絵もいー味だし…さらさら読めるよ。



他にもたくさんあります。こちらからどうぞ

[https://booklog.jp/users/suzukakyoeilib?category\\_id=3400230&display=front](https://booklog.jp/users/suzukakyoeilib?category_id=3400230&display=front)



＼カウンター前で展示中／

同時開催



「まんがで得た知識もりっぱな知識」。たまには漫画でお勉強！いかがでしょうか。「しよせん漫画でしょ？」って言わないで。意外に詳しいんです。英語、数学、理科、国語、社会、文学作品の漫画バージョンも取り揃えてみました。超有名なあの作品…気になっているんだけどまだ読んでない？だったら漫画でさらっと読んでおこう！

**編集後記** 待ちに待った実りの秋！食欲の秋！おいしいものがいっぱいですね。感謝していただく☆皆さんは何が好きですか？（大塚）

